【投信調査コラム】No.453

情報提供資料
2026年11月9日

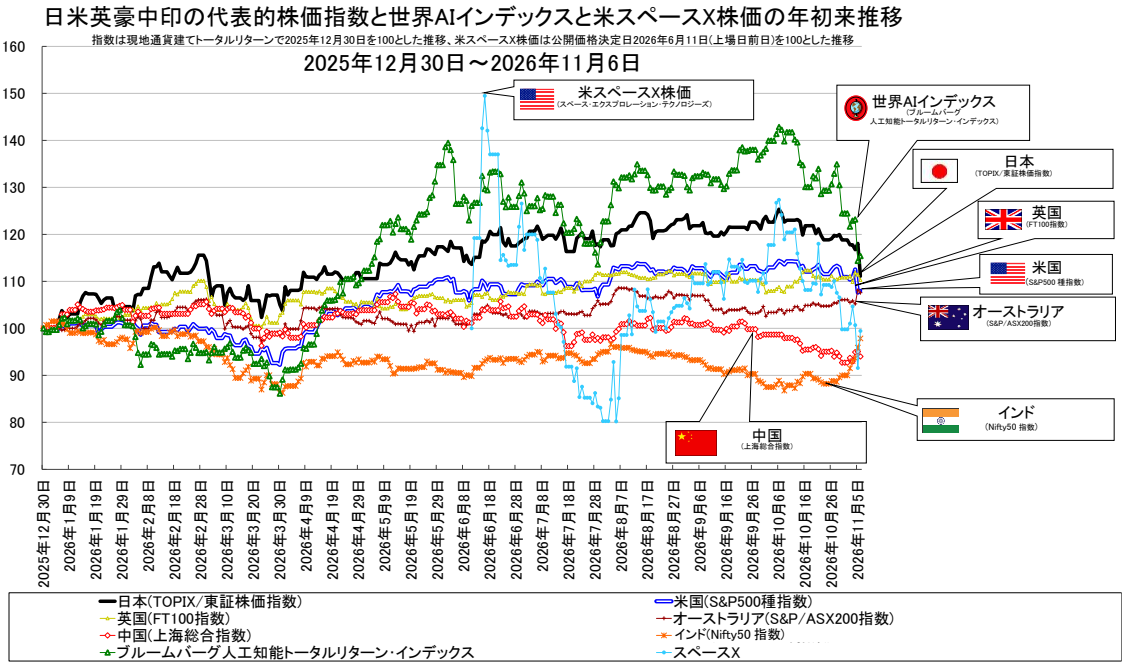
世界のファンドによる日本株投資と日本株ファンド
～米国の'青い波'で日米株急落！ AIエクスポージャーからのTOPIX急落に行き過ぎ感、過去の'青い波'が年末株高･ドル高を示唆？～

三菱UFJアセットマネジメント株式会社　経営企画部　松尾 健治(シニアリサーチアナリスト)
窪田 真美(シニアリサーチアナリスト)

※三菱UFJアセットマネジメントがお届けする、内外の資産運用に関連する情報を発信するコラムです。

●米国の'青い波'で日米株急落！AI エクスポージャーからの TOPIX 急落に行き過ぎ感
～世界株式市場の AI エクスポージャー～、過去の'青い波'が年末株高･ドル高を示唆？

2026 年 11 月 3 日の米中間選挙で民主党が圧勝、'青い波/blue wave/blue tsunami/blue nami(青は民主党の党としてのカラー)'となり(2026 年 11 月 7 日付 CNN Politics「Election 2026: Results, news and analysis」～ https://edition.cnn.com/election/2026 、次頁図表参照)、民主党が訴える(水質汚染や電気代高騰の要因となる)AI のデータセンターを規制する懸念が強まり、11 月 5 日に AI 関連株が暴落、NY ダウや S&P500 が急落、それが世界に波及、日経平均株価も東証株価指数/TOPIX も急落。 ただ世界株全面安と言う事はない。 AI によりビジネスが打撃を受けるとされてきたソフトウエア、IT サービス大国のインドでは Nifty50 指数が 7 取引日続伸であり、2026 年 2 月 27 日以来高値である(インドの AI 関連株は次頁※1 参照、最新の日米インドの投信フローは本日の 2026 年 11 月 9 日付投信調査レポート No.466「AI ショック(米中間選挙)前後の日米投信と AI ファンドの流出入～インド株ファンドは日米で流出が止まらないが、インドの長期キャピタルゲイン税撤廃案や米国の AI ショックなど好材料から株価が急反発中～」～ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/ 参照)。



(出所: ブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

S&P500 の AI エクスポージャーは TOPIX の 2 倍以上あり(日経平均は S&P500 より大)、この TOPIX 急落(2026 年 11 月 2～6 日で-5.7%)は行き過ぎ感がある(2026 年 11 月 2～6 日で S&P500 は-2.2%、日経平均株価は-9.0%、AI エクスポージャーは次頁※1 参照)。 日本株式市場や高市政権にとり大きな懸案材料であった金利も、2026 年 11 月 6 日、(12 月 18 日の日銀会合)利上げ確率は 52.5%まで急低下しており(前日は 80.5%、確率は無担保コール翌日物金利/Tokyo Overnight Average Rate/TONA を対象とするスワップ金利/Overnight Indexed Swap/OIS から計算…BlueGamma「Bank of Japan Interest Rate Forecast: Next Meeting Probabilities」～ https://www.bluegamma.io/central-banks/central-bank-interest-rate-forecasts/the-bank-of-japan-interest-rate-forecast 、Bloomberg「JP0BPR Index」)、10 年国債利回りも 2.654%まで急低下、2026 年 6 月 29 日以来の低さとなっている(2026 年 10 月 1 日に 3.125%と 1996 年 8 月 27 日以来の高さ、2026 年 9 月 24 日付投信調査コラム No.451「日米国債ファンドの積立投資～世界で米国国債 ETF が人気、日本で個人向け国債が人気！(新窓販国債は？) かつて人気だった中期国債ファンドなど公社債投信や長期国債ファンドなど単位型投信は今～」～ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_260924.pdf)。

※1：世界株式市場の AI エクスポージャー…

AI エクスポージャーは米国の S&P500 が 30.6%(マイクロソフト/Microsoft やエヌビディア/Nvidia 等)、日本の東証株価指数/TOPIX が 12.4%(東京エレクトロンやキオクシア等)、日経平均が 39.0%(アドバンテストや東京エレクトロン等)、インドの Nifty50 が 8.2%(タタ・コンサルタンシー・サービシズ/TCS やインフォシス/Infosys 等、IT サービス世界最大級企業で AI ブームからの恩恵は小さい)、オーストラリアの S&P/ASX200 は 4.0%(ウイズテック/WiseTech やゼロ/Xero 等)、英国の FTSE100(レレックス/RELX やエルセグ/LSEG 等)は 4.4%、中国の上海総合指数は 8.5%(中科寒武紀科技/Cambricon や中芯国際/SMIC 等)、台湾加権指数/TAIEX は 67.5%(台湾積体電路製造/TSMC 等)、韓国の韓国総合株価指数/KOSPI は 48.2%(サムスン電子や SK ハイニックス等)となる(S&P500 や TOPIX 等指数を構成する AI 関連株時価総額をその指数全体の時価総額で割って算出した比率を AI エクスポージャーとしている。 AI 関連株は Bloomberg「Bloomberg Artificial Intelligence Total Return Index」～https://www.bloomberg.com/professional/products/indices/quote/BAITRND の世界 50 銘柄が参考になるものの、日本はトレンドマイクロしか入っておらず、データセンター用メモリ/NAND 日本1位&世界4位のキオクシア等が入っていない為、AI 関連株を拡大して計算している。 なお、データセンター用メモリ/NAND 世界 3 位の米国マイクロンテクノロジーや世界 2 位の韓国 SK ハイニックスは入っているが、世界 1 位の韓国サムスン電子が入っていないので韓国/KOSPI にはサムスン電子を加えて計算している)。

世界株式市場のAIエクスポージャー(大きい順)　　2026年11月6日現在

順位	国名	指数名	AI エクスポージャー(%)	主なAI関連銘柄
1	台湾	台湾加権指数/TAIEX	67.5	台湾積体電路製造/TSMC等
2	韓国	韓国総合株価指数/KOSPI	48.2	サムスン電子やSKハイニックス等
3	日本	日経平均225	39.0	アドバンテスト、東京エレクトロン
4	米国	S&P500	30.6	マイクロソフト/Microsoftやエヌビディア/Nvidia等
5	日本	東証株価指数/TOPIX	12.4	東京エレクトロン、キオクシア
6	中国	上海総合指数	8.5	中科寒武紀科技/Cambriconや中芯国際/SMIC等
7	インド	Nifty50	8.2	タタ・コンサルタンシー・サービシズ/TCSやインフォシス/Infosys等
8	英国	FTSE100	4.4	レレックス/RELXやエルセグ/LSEG等
9	オーストラリア	S&P/ASX200	4.0	ワイズテック/Wise Techやゼロ/Xero等

(出所：Bloomberg等より三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が推計・作成)

’青い波/blue wave/blue tsunami/blue nami(青は民主党の党としてのカラー)’は 2006 年 11 月 7 日や 1990 年 11 月 6 日以来で、どちらも翌々年大統領選で民主党勝利の’トリプルブルー/triple blue/blue sweep/Democratic trifecta’だ(2024 年 11 月 5 日の選挙は’トリプルレッド/triple-red/red sweep/Republican Trifecta’…2024 年 11 月 25 日付投信調査コラム No.414「SEC 委員長退任で投信改革・私募ファンド・暗号規制は？トリプルレッドを歓迎するバンクローンやプライベートアセット、歓迎しない ESG、警戒するインデックスファンドと ETF！」～ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_241125.pdf)。**過去の’青い波’の時の様に 2026 年 12 月末は株高・ドル高になるかもしれない。**

米国の大統領選・議会選挙結果　　2026年11月8日現在
※議席は変動する。
＊赤は共和党の党としてのカラー、青は民主党の党としてのカラー。

		選挙日	米大統領選挙結果	米議会選挙結果 上院(選挙後すぐ)	米議会選挙結果 下院(選挙後すぐ)	選挙年のNYダウ 10月末		11月末		12月末		選挙年の米ドル(対円) 10月末		11月末		12月末	
1	中間	1990年11月6日	選挙なし(1988年11月8日に勝利したブッシュ米大統領は共和党)	民主党勝利(共44、民56)	民主党勝利(共167、民267)	2,442.33	－	2,559.65	上昇	2,633.66	上昇	129.95	－	133.10	ドル高	135.75	ドル高
2		1992年11月3日	民主党勝利(クリントン大統領)	民主党勝利(共43、民57)	民主党勝利(共175、民260)	3,226.28	－	3,305.16	上昇	3,301.11	下落	123.45	－	124.75	ドル高	124.86	ドル高
3	中間	1994年11月8日	選挙なし(1992年11月3日に勝利したクリントン米大統領は民主党)	共和党歴史的勝利(共53、民47)	共和党歴史的勝利(共230、民205)	3,908.12	－	3,739.23	下落	3,834.44	上昇	96.96	－	98.97	ドル高	99.58	ドル高
4		1996年11月5日	民主党勝利(クリントン大統領再選)	共和党勝利(多数派死守)	共和党勝利(多数派死守)	6,029.38	－	6,521.70	上昇	6,448.27	下落	114.07	－	113.85	ドル安	115.70	ドル高
5	中間	1998年11月3日	選挙なし(1996年11月5日に勝利したクリントン米大統領は民主党)	共和党勝利(共55、民45)	共和党多数派(ただ共223、民211、無1)	8,592.10	－	9,116.55	上昇	9,181.43	上昇	115.97	－	122.93	ドル高	113.60	ドル安
6		2000年11月7日	共和党勝利(ブッシュ大統領) ※ただし接戦(民主党のゴア氏)。	同数(ただ共50、民50と民主党躍進) *上院議長が副大統領(共和党)で共和党主導。	共和党多数派(ただ共221、民212、無2)	10,971.14	－	10,414.49	下落	10,786.85	上昇	108.83	－	110.38	ドル高	114.41	ドル高
7	中間	2002年11月5日	選挙なし(2000年11月7日に勝利したブッシュ米大統領は共和党)	共和党勝利(共51、民48)	共和党勝利(共229、民205、無1)	8,397.03	－	8,896.09	上昇	8,341.63	下落	122.48	－	122.54	ドル高	118.79	ドル安
8		2004年11月2日	共和党勝利(ブッシュ大統領再選)	共和党勝利(共51、民48)	共和党勝利(共229、民205、無1)	10,027.47	－	10,428.02	上昇	10,783.01	上昇	105.81	－	103.07	ドル安	102.63	ドル安
9	中間	2006年11月7日	選挙なし(2004年11月2日に勝利したブッシュ米大統領は共和党)	民主党勝利(共49、民51)	民主党勝利(共196、民229)	12,080.73	－	12,221.93	上昇	12,463.15	上昇	116.97	－	115.80	ドル安	119.05	ドル高
10		2008年11月4日	民主党圧勝(オバマ大統領)	民主党圧勝(共40、民58) *2009年7月に民主党が60となるものの翌月59に。	民主党圧勝(共173、民251) *未定があるものの民主党が過半数218を超え。	9,325.01	－	8,829.04	下落	8,776.39	下落	98.46	－	95.52	ドル安	90.64	ドル安
11	中間	2010年11月2日	選挙なし(2008年11月4日に勝利したオバマ米大統領は民主党)	民主党過半数死守(共46、民52)→共47、民51	共和党歴史的勝利(共239、民186)→共240、民190	11,118.49	－	11,006.02	下落	11,577.51	上昇	80.40	－	83.69	ドル高	81.12	ドル安
12		2012年11月6日	民主党勝利(オバマ大統領再選)	民主党勝利(共45、民55)	共和党勝利(共234、民201)	13,096.46	－	13,025.58	下落	13,104.14	上昇	79.77	－	82.48	ドル高	86.75	ドル高
13	中間	2014年11月4日	選挙なし(2012年11月6日に再選したオバマ米大統領は民主党)	共和党勝利(共52、民45)	共和党勝利(共243、民181)	17,390.52	－	17,828.24	上昇	17,823.07	下落	112.32	－	118.63	ドル高	119.78	ドル高
14		2016年11月8日	共和党勝利(トランプ大統領) ※接戦(民主党のクリントン氏)。	共和党勝利(共51、民49) *民主党49は統一会派の無所属議員2人を含む。	共和党勝利(共238、民193)	18,142.42	－	19,123.58	上昇	19,762.60	上昇	104.82	－	114.46	ドル高	116.96	ドル高
15	中間	2018年11月6日	選挙なし(2016年11月9日に勝利したトランプ米大統領は共和党)	共和党勝利(共51、民46→47)	民主党勝利(共199、民225→232)	25,115.76	－	25,538.46	上昇	23,327.46	下落	112.94	－	113.57	ドル高	109.69	ドル安
16		2020年11月3日	民主党勝利(バイデン大統領) ※接戦(共和党のトランプ大統領)。	同数(共50、民50) *2021年1月5日ジョージア州(民主党2人)で確定したが、上院議長が副大統領(民主党)で民主党主導。	民主党勝利(共211、民222) *未定があるものの民主党が過半数218を超え。	26,501.60	－	29,638.64	上昇	30,606.48	上昇	104.66	－	104.31	ドル安	103.25	ドル安
17	中間	2022年11月8日	選挙なし(2020年11月3日に勝利したバイデン大統領は民主党)。	民主党勝利(共49、民51*) *民主党は2022年12月9日にシネマ氏が、2024年5月31日にマンチン氏が無所属に。	共和党勝利(共218→221→220、民212)	32,732.95	－	34,589.77	上昇	33,147.25	下落	148.71	－	138.07	ドル安	131.12	ドル安
18		2024年11月5日	共和党勝利(トランプ大統領)	共和党勝利(共53、民47)～2024年11月13日に固まった	共和党勝利(共218、民208)～2024年11月13日に過半数218	41,763.46	－	44,910.65	上昇	42,544.22	下落	152.03	－	149.77	ドル安	157.20	ドル高
19		2026年11月3日	選挙なし(2024年11月5日に勝利したトランプ大統領は共和党)。	民主党勝利(共44、民54)	民主党勝利(共163、民254)	51,770.31	－	51,285.73 2026年11月6 日NY引け	下落	－	?	157.56	－	158.48 2026年11月6 日NY引け	ドル高	－	?

(出所：各種資料及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント社経営企画部が作成)

●世界のファンドによる日本株投資: 2026 年 9 月末純資産 362 兆円、2026 年 7-9 月純設定+3.5 兆円の純流入、2026 年 9 月純設定+1.5 兆円の純流入

2026 年 11 月 6 日(金)にかけて日米株が急落、その日の国会で田中健衆議院議員(国民民主党)が「日米の株式市場が大幅に下落をしています。 総理として、この中間選挙の結果が日本経済及び世界経済に与える影響を、どのようにお考えになっているのか、またマイナスの影響を最小に抑えなくてはならないと思っています。 今日朝からマーケットがものすごく動いていまして、先物は 5 万 7000 円を割りまして、下落率 10%です。この状況をぜひ総理に考えていただきたいと思いますが、お考えをお願いいたします。」と質問、高市首相が「**AI 関連株、また半導体などを中心に、かなり下落しているということも承知**をいたしております。 これが**一時的なものに終わるのか、しばらく続くのか、こういったことも予断はできません**けれども、私はとにかく、今、日本経済を強くする、日本の強みを持つ技術、これをしっかりと社会実装して、日本の経済成長につなげていくということを考えていますので、日本の取り組みの中で、**日本の強い分野がしっかりと伸びていく、そういう形をつくっていきたい**と考えております。 確かにこれ、日米、これは日本だけじゃないです、世界中の国が影響を受けていると思いますが、その状況を注視しながらも、これは市場で決まることですから、特にコメントはいたしません。 日本は日本の強みをつくっていくということです。」と答えた(強調下線は当コラム筆者、2026 年 11 月 6 日付 YouTube「【国会中継】財務金融委員会」～ https://www.youtube.com/watch?v=o4osGIPJ574 、2026 年 11 月 6 日付 note「国民民主党の文字起こしをする鶴亀」～ https://note.com/tamakitext/n/n41a1e4fa9e80)。



(出所: 2026 年 11 月 6 日付 YouTube「【国会中継】財務金融委員会」～ https://www.youtube.com/watch?v=o4osGIPJ574)

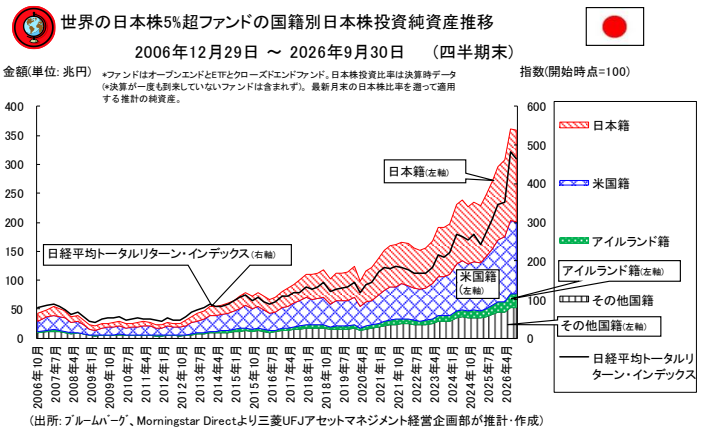
2026 年 11 月 6 日(金)にかけての日米株急落は一般個人にも関心は強く、2026 年 11 月 8 日(日)放映の地上波 TBS テレビ「上田晋也のサンデーQ」では「中間選挙で株価暴落 アメリカ発の“AI ショック”世界に波及、日本でも進む AI データセンターの建設…影響は？」という事で、白井さゆり慶應義塾大学教授(元日銀審議委員)が「**日経平均株価の大体少なくとも 30%以上は AI 関係**ですから、それが今まで上げてきたから、これからは振れやすい。 アメリカの金利が下がると日本の金利も下がり、恩恵も。 **円高になりやすい**。」などと、かなり時間を割き、芸能人達からの質問に対して詳細に答えていた(当コラム筆者の推計で、日経平均株価の AI エクスポージャーは 39.0%～前頁上方の※1 参照、テレビ放映は 2026 年 11 月 8 日付 TBS「上田晋也のサンデーQ」～ https://www.tbs.co.jp/tv/20261108_C44B.html 、 https://cu.tbs.co.jp/program/28785?utm_source=tv_schedule&utm_medium=organic)。

日本株がこうして急落、国会や一般個人の中でも大きな話題となっている事から、恒例の世界のファンド投資家の日本株投資動向を見る(条件などは後述※2 参照)。 世界のファンド投資家の日本株ファンド(日本株のみに投資をするファンド)、グローバル株ファンド、海外株ファンド、EAFE 株ファンド(EAFE…Europe、Australia、Far East の事で米加を除く世界の先進国の株式市場を対象としたファンド)、アジア・パシフィック株ファンド等のファンドによる日本株投資も見る(日本株ファンドについては後述する)。直近 2026 年 3Q は 7-9 月の四半期値(これまで…2026 年 2 月 24 日付投信調査コラム No.439「世界の日本株投資ファンド～高市内閣 2.0 の国内投資促進策はコーポレートガバナンス改革で企業も「貯蓄から投資へ」!? 国籍別・投資地域別日本株投資および日本株ファンド販売地域・国別フロー～」～ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_260224.pdf 、2025 年 12 月 22 日付投信調査レポート No.448「世界のファンド投資家の日本債・日本株投資～日本で日本株ファンドの流入が加速、日本債ファンドは流出だが MRF が過去最大！ 米国で ETF に過去最大の流入！ 米国株ファンド流入加速、日本株ファンドも流入!!～」(https://www.am.mufg.jp/report/investigate/report_251222.pdf)。

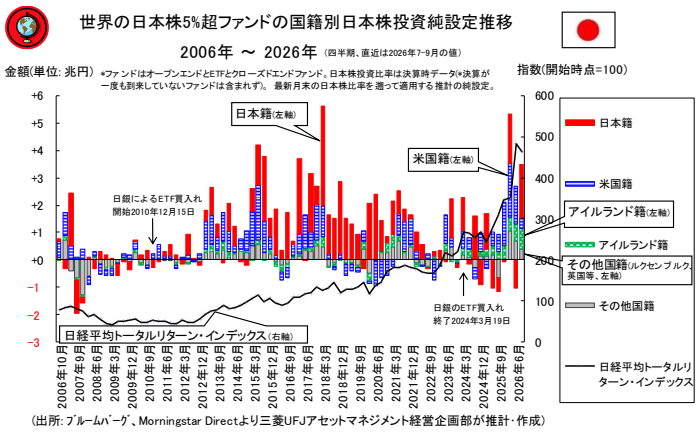
日本株への投資比率が 5%を超える世界のファンドは、2026 年 9 月末に 24,291 本/純資産 1,420 兆円に達した。 このうち、**日本株投資部分は約 362 兆円と 20 年間で 8.6 倍**に大幅拡大している(2006 年 10 月末 42 兆円→2026 年 9 月末 362 兆円)。 **直近の純流出入(純設定)をみると、日本株投資部分は 2026 年 7-9 月で+3.5 兆円、2026 年 9 月単月では+1.5 兆円の純流入**となった。

国籍別で見ると、日本株投資純資産が大きいのは、日本、米国、アイルランド、その他(ルクセンブルク、英国、カナダ、スウェーデンなど)。 ここで注意は、英国籍がかなり小さい事である。 英国の運用会社は英国籍だけでなくルクセンブルク籍やアイルランド籍でも多くの投信を設定しており、英国の投資家はこれら 3 国籍の投信に投資している。 これがルクセンブルクとアイルランドが米国に次ぐ投信大国の理由である(ルクセンブルクはアクティブファンド中心に英国のマネーがシフト、アイルランドは ETF およびインデックスファンド中心に英国のマネーがシフト)。 この傾向は、英国の EU 離脱(ブレグジット/Brexit…2016 年 6 月 23 日決定、2020 年 12 月 31 日完全離脱)によって一層増えている(英国とルクセンブルクとアイルランド…2024 年 10 月 28 日付投信調査コラム No.412「世界の ETF～暗号資産(仮想通貨)ETF、ヘッジファンド保有 ETF、アクティブ ETF、テーマ&バッファーETF～ 欧州の ETF～債券 ETF、アセットオーナー保有 ETF～ 日本の ETF～日銀保有 ETF～」～ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_241028.pdf 、EU 離脱…2018 年 7 月 23 日付日本版 ISA の道 その 231「英国はハード・ブレグジット、ノーディール・ブレグジットへ!?」～ https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_180723.pdf)。

日本株投資純設定は最新 2026 年 7-9 月に**日本籍が+1.9 兆円と 2020 年 4-6 月(+2.4 兆円)以来の大きな純流入、米国籍が+3,873 億円と 2 四半期連続純流入、アイルランド籍(英国のパッシブ/ETF 投資家が大きい)が+7,488 億円と 11 四半期連続純流入**。 米国と英国の投資家に日本株投資が多い。

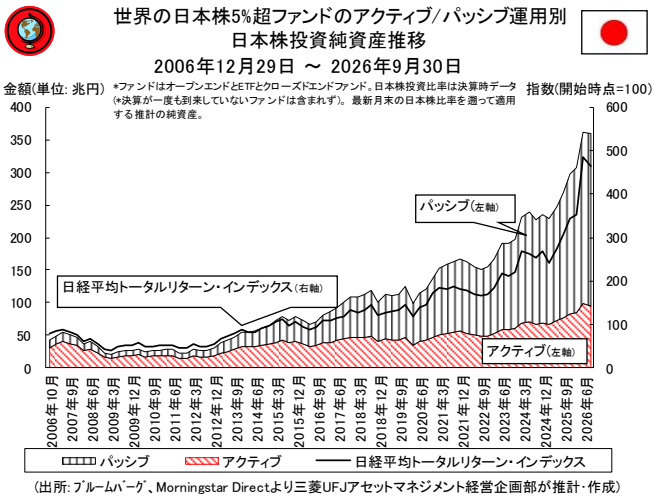


(出所:ブルームバーグ、Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が推計・作成)

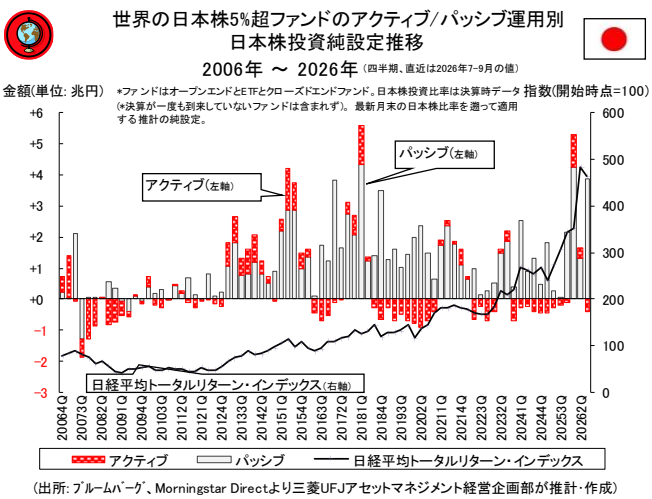


(出所:ブルームバーグ、Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が推計・作成)

運用手法別ではアクティブの日本株投資純資産が 102 兆円と 20 年間で 3 倍となったが、パッシブの日本株投資純資産は 260 兆円と 24 倍となっている(アクティブの占める比率は 20 年前の 74%から低下、2016 年にパッシブに逆転され、2026 年 9 月末に 26%まで低下)。



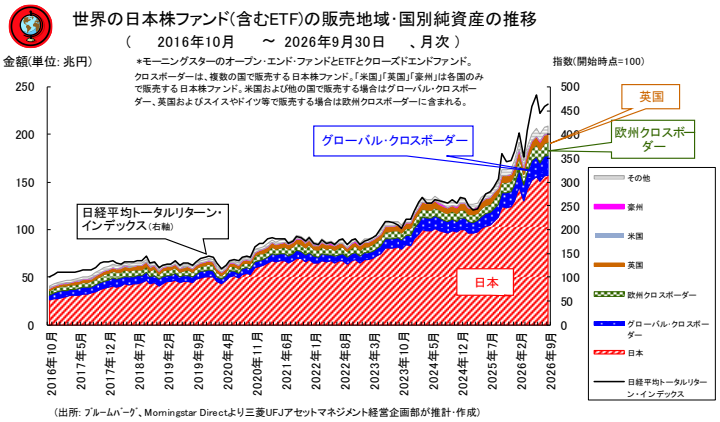
(出所:ブルームバーグ、Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が推計・作成)



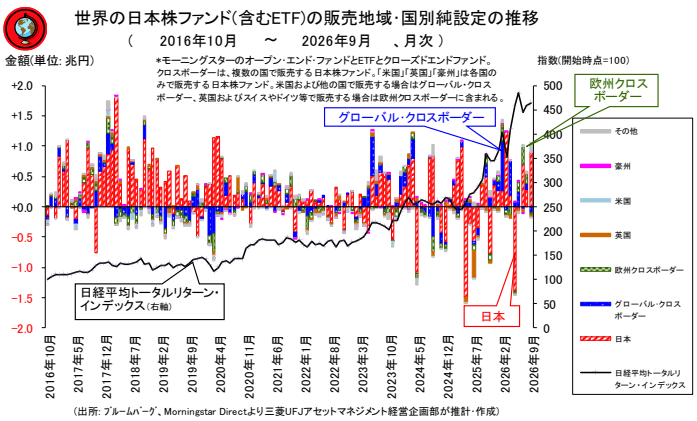
(出所:ブルームバーグ、Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が推計・作成)

●世界のファンドによる日本株ファンドは純資産も純設定も圧倒的に日本籍！ 今後、世界の日本株ファンド(シェアクラス)の新規設定が増える可能性

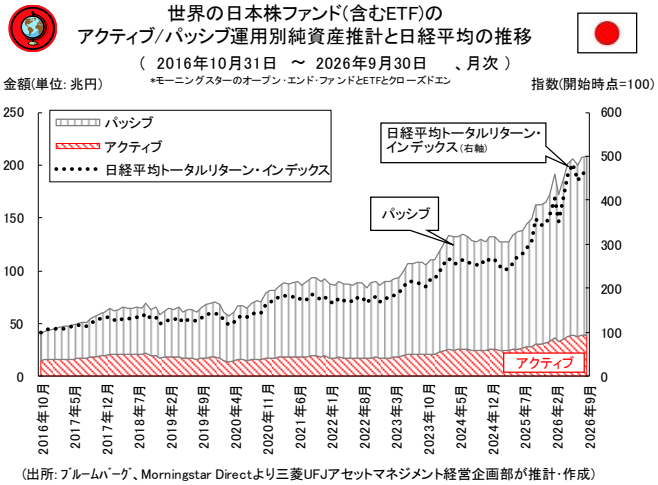
世界の日本株ファンド(日本株のみに投資をするファンド)は、純資産も純設定も圧倒的に日本が大きい。 それに次ぐのが、グローバル・クロスボーダーと欧州クロスボーダーである(クロスボーダーは、複数の国で販売する日本株ファンド。「米国」「英国」「豪州」は各国のみで販売する日本株ファンド。米国および他の国で販売する場合はグローバル・クロスボーダー、英国およびスイスやドイツ等で販売する場合は欧州クロスボーダーに含まれる)。 世界の日本株ファンドの運用手法別では、純資産も純設定も圧倒的にパッシブが大きいが、**2026 年に入ってからは日本株アクティブファンドの純流入傾向**がある。



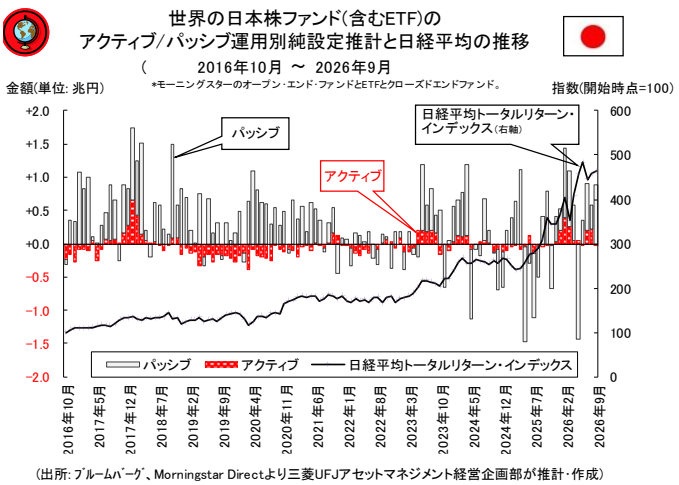
(出所: ブルームバーグ、Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が推計・作成)



(出所: ブルームバーグ、Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が推計・作成)



(出所: ブルームバーグ、Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が推計・作成)



(出所: ブルームバーグ、Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が推計・作成)

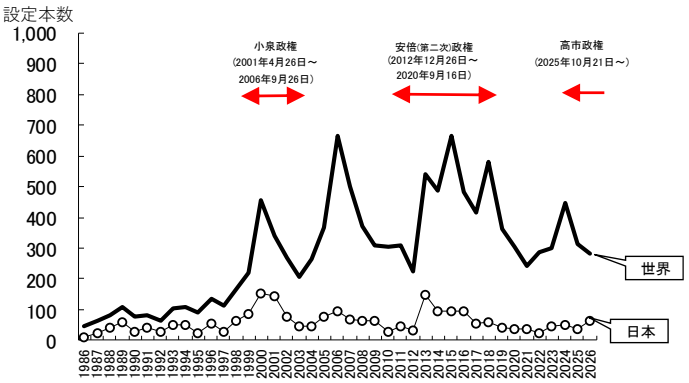
最後に、世界の日本株ファンド(シェアクラス)の今後の新規設定動向について展望する。 現在、日本国内では日本株ファンドの新規設定が増えているが、これまでの新規設定本数からすれば、まだこれから本格的に増えそうに思われる。 また、現時点で、**海外における日本株ファンド(シェアクラス)の新規設定はそれほど目立って増えていないものの、これまでの設定実績からすれば、こちらも、今後さらに増加する余地は大きい**。 特に、高市政権(2025 年 10 月 21 日～)が、かつての小泉政権(2001 年 4 月 26 日～2006 年 9 月 26 日)や安倍(第二次)政権(2012 年 12 月 26 日～2020 年 9 月 16 日)の時の様になれば、日本籍は元より、ルクセンブルク籍やアイルランド籍、さらには米国籍や韓国籍などグローバルな日本株ファンド(シェアクラス)の新規設定が期待される。

前回の'青い波'があった 2006 年 11 月 7 日、小泉政権(2001 年 4 月 26 日～2006 年 9 月 26 日)から安倍政権への過渡期において、ルクセンブルク籍などの日本株ファンドが多々新規設定された。 その後 2007 年 2 月 20 日に S&P500 が 2000 年 9 月 19 日以来高値を更新、2007 年 2 月 12 日に米ドルが対円で 2002 年 12 月 12 日以来高値を更新、そして、2007 年 2 月 26 日に TOPIX が 1991 年 11 月 14 日以来高値を更新する相場へと発展したが、今回も同様の展開があるかもしれない。

世界の日本株ファンド(シェアクラス)の新規設定本数

(2006年 ～ 2026年、年次 、2026年は概ね10月末まで)

＊世界の日本株ファンド…オープンエンドファンド、ETF、クローズドエンドファンド(英国のインベストメントトラスト)等。

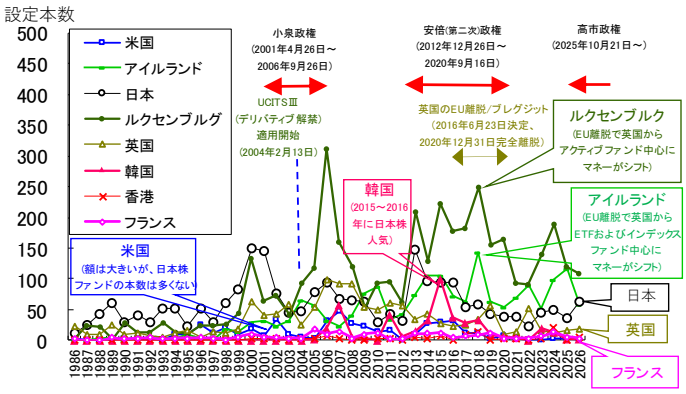


(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が推計・作成)

世界の日本株ファンド(シェアクラス)の主要国籍別新規設定本数

(2006年 ～ 2026年、年次 、2026年は概ね10月まで)

＊世界の日本株ファンド…オープンエンドファンド、ETF、クローズドエンドファンド(英国のインベストメントトラスト)等。



(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が推計・作成)

※2: 世界の日本株 5%超ファンドのアクティブ/パッシブ運用別・国籍別日本株投資フロー…

「世界の日本株 5%超ファンド」を見るべく、世界最大級の投信評価機関であるモーニングスターを用いて、オープンエンドファンドと ETF とクローズドエンドファンドを抽出する。

出来る限りカバーを拡げて、全世界の公募投信を対象に、日本株のみに投資をするファンドだけでなく、海外株ファンドや EAFE 株ファンド、アジア・パシフィック株ファンドによる日本株投資を見る。 日本株投資については、日本株を 5%超組み込んだファンドを抽出(*5%超…株式の 5%超を取得した翌日から 5 営業日以内に報告する日本の関東財務局・大量保有報告基準～ https://lfb.mof.go.jp/kantou/disclo/tairyou/mokuji.htm)、各々の日本株投資比率(直近分)をファンドの純資産と純設定に乗じ、それを日本株投資純資産と純設定とみなして推計した(20 年間の推移は、日本株投資純資産の上位 1 万本を対象)。 なお、日本株投資比率は決算時データによるもので(決算が一度も到来していないファンドは含まれず)、2026 年 9 月 30 日現在の比率と違う可能性はある。ただ大きなものが、インデックスファンドばかりなので、大きな相違は無いと思われる。

2026 年 9 月末現在、世界の日本株 5%超保有ファンド 24,291 本(純資産計 1,420 兆円)が投資する日本株純資産は約 362 兆円だった(オープンエンドファンド 22,718 本/純資産比率 41.8%、ETF は 1,543 本/57.9%、クローズドエンドファンドは 30 本/0.3%)。日本籍ファンドの日本株投資純資産は 160 兆円/44.3%、外国籍ファンドによる日本株投資純資産はそれを上回り、202 兆円(大きい順に米国 119 兆円、アイルランド 23 兆円、ルクセンブルク 22 兆円、英国 12 兆円、カナダ 7 兆円)。

以 上

三菱 UFJ アセットマネジメント【投信調査コラム(日本版 ISA の道)】バックナンバー:
「 https://www.am.mufg.jp/report/investigate/ 」。

三菱 UFJ アセットマネジメント株式会社 経営企画部シニアリサーチアナリスト
松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、
窪田 真美(mami1-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料は内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱 UFJ アセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。
■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会